
平成26年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成26年3月4日

質問者（質問順）

- 1 竹内康洋 委員（公明党）
- 2 菅野義矩 委員（民主党）
- 3 篠原 豪 委員（結ぶ会）
- 4 荒木由美子 委員（共産党）
- 5 藤代哲夫 委員（自民党）
- 6 遊佐大輔 委員（自民党）
- 7 平野和之 委員（みんな）

水道局

局 別 審 査

1 竹 内 康 洋 委 員 (公 明 党)

- 1 平成26年度水道事業会計予算の概要について
 - (1) 厳しい経営環境の中での今後の事業運営についての考え方を伺いたい。
 - (2) 26年度予算編成の基本的な考え方について伺いたい。
 - (3) 会計制度変更の意義と経営への影響はどうか。
 - (4) 63億円の純損失についての考え方を伺いたい。

- 2 川井浄水場セラロックの稼動について
 - (1) 川井浄水場セラロックの特徴は何か。
 - (2) 現在の進捗状況はどうか。
 - (3) 給水区域拡大によるメリットは何か。
 - (4) 川井浄水場セラロックへ期待していることは何か。

- 3 「はまっ子どうし The Water」を通じたプロモーションについて
 - (1) 25年度に実施したプロモーションの主な取組は何か。
 - (2) 26年度のプロモーションの取組は何か。

- 4 災害時における施設のバックアップ機能の強化について
 - (1) 災害対応における送水機能の強化の基本的な考え方について伺いたい。
 - (2) 大環状線の整備内容について伺いたい。
 - (3) 大環状線を活用した小雀浄水場停止時のバックアップ方法について伺いたい。

5 市民との協働による応急給水対策の強化について

- (1) 災害用地下給水タンクの過去3年間の応急給水訓練の実績及び訓練内容について伺いたい。
- (2) 共助推進の視点として応急給水訓練の課題及び今後の取組は何か。
- (3) 災害時における応急給水・応急復旧に係る民間事業者との協力体制について伺いたい。
- (4) 協定を締結している団体との連携に関する取組状況について伺いたい。
(要望) 災害時における各種協力の協定を締結している団体とのさらなる日頃の連携を要望します。
- (5) 消火栓を活用した応急給水の進捗状況について伺いたい。

6 障害者支援について

- (1) 水道メーター分解作業委託以外の障害者就労支援の取組状況はどうか。
- (2) 障害者就労支援を推進するための課題は何か。
- (3) 障害者就労支援に対する考え方について伺いたい。

7 国際熱帯木材機関（ITTO）との連携について

- (1) 取組を発表する国際会議の概要について伺いたい。
- (2) 会議におけるPR内容について伺いたい。
- (3) 国際会議などの機会を生かして、横浜の取組を世界に向けてアピールするべきと考えるがどうか。

8 国際展開に向けた取組について

- (1) 横浜水ビジネス協議会会員企業の概要について伺いたい。
- (2) 水道局のアフリカに対する技術協力の状況について伺いたい。
- (3) アフリカへの技術協力を協議会会員企業のビジネス展開につなげるべきと考えるがどうか。
- (4) フィリピンの台風被害への水道局の支援について伺いたい。
- (5) 今後の都市間連携のあり方について伺いたい。

2 菅野義矩委員（民主党）

1 老朽管更新・耐震化の取組について

- (1) 老朽管更新・耐震化の考え方について伺いたい。
- (2) 耐震化率の実績と今後の目標について伺いたい。
- (3) 効果的な耐震化の取組は何か。

2 消火栓補修弁補強事業について

- (1) 今後の消火栓の補強はどのように進めていくのか。
- (2) 補強計画を実施するための消防局との協議結果はどうだったのか。
- (3) 消火栓の管理については、今後どのように行っていくのか。
- (4) 消火栓漏水事故については、他都市でも起こっているのか。
- (5) 製品の改善のためのメーカーとの連携や他事業体への情報提供などによる事故の未然防止の取り組みは行っているのか。

3 既設水道管の未撤去判明に伴う対応について

- (1) 既設水道管が未撤去であった件の概要について伺いたい。
- (2) 未撤去の水道管に対する対応状況について伺いたい。
- (3) 既設水道管が未撤去だった事は、なぜわかったのか。
- (4) 再発防止に向けた取組について伺いたい。

4 GX形ダクタイル鋳鉄管（100年管）の採用について

- (1) 100年管の特徴と26年度の施工延長について伺いたい。
- (2) 既存の水道管材料と比較した場合のコスト縮減効果はどれくらいか。
- (3) 100年管の布設にかかわる施工性はどのように確保するのか。
- (4) 請負事業者及び局職員の技術習得に向けた取組は何か。

5 技術職員の確保と人材育成について

- (1) 次世代を担う若手技術者を確保するための取組は何か。
- (2) 水道システムを維持していくための若手技術者の育成はどのようにしているのか。
- (3) 専門知識を有するマスターエンジニアの育成状況はどうか。
- (4) より広い視野を持った職員を育成するにあたり、横浜市の枠を超え、多様な経験を得るための取組について伺いたい。

6 事務所の統合について

- (1) 「事務所の統合」の目的は何か。
- (2) 「事務所の統合」の概要について伺いたい。
- (3) 「事務所の統合」により、地域部門が提供するお客さまサービスは今後どのように向上するのか。
- (4) 「事務所の統合」により、地域部門における災害時や緊急時の対応に影響はないのか。

1 水道局の国際貢献について

- (1) 「すいど～まんケニアを歩く（国際厚生事業団出版）」の経緯と局内でどのように読まれているのか伺いたい。
- (2) これまでの海外への職員派遣実績、職員派遣による技術協力の具体的な内容について短期と長期の違いも含めて伺いたい。
- (3) 海外に職員を派遣してきた理由は何か。
- (4) これまでの海外研修員受入実績及び受入による技術協力の具体的な内容について伺いたい。
- (5) タイにおける職員派遣及び海外研修員受入実績、タイにおける水道技術者育成の取組内容について伺いたい。
- (6) これまでの国際貢献の取組に関する評価について伺いたい。

2 民間企業の海外展開支援について

- (1) JICA草の根技術協力事業について、活動内容、現在直面している課題、課題をどうのりこえ、どのような成果を目標に進めているのか伺いたい。
- (2) JICA草の根技術協力事業において技術を提案する企業4社について、どのような企業でどのような分野の技術を提案し、水道局はどのような役割を担うのか伺いたい。
- (3) 水道事業における民間企業の海外展開支援についての見解を伺いたい。

3 横浜ウォーター株式会社の事業について

- (1) 横浜ウォーター株式会社は具体的には、国内事業はどのような事業を、国際事業はどのような事業をどのような体制で行っていて、どのぐらいの売り上げをそれぞれの事業で上げているのか伺いたい。
- (2) ターゲットとするクライアントは、国内事業と国際事業それぞれで、どのようなところなのか。
- (3) 横浜ウォーター株式会社のダナン市における取組と水道整備に関する準備調査の内容、今後の展開の見通しについて伺いたい。
- (4) まもなく4年となる来期に臨んでの、国内事業、国際事業の課題は何か。
- (5) 横浜ウォーター株式会社の今後の事業展開についての見解を伺いたい。

4 グローバル人材の育成について

- (1) 国際貢献における局の現状と課題、人材開発の必要性への認識及びそれを補完するシステムについて伺いたい。
- (要望) 40年間にわたって築かれてきた海外の水道事業体との信頼関係が断絶しないようにしていただきたい。
- (要望) 若い職員を、局の費用負担がない仕組みの中で海外に派遣するなど、将来の発展に繋がるような施策展開をしていただくよう要望します。

1 検針・料金整理業務の委託内容と未納者への対応について

- (1) 検針・料金整理業務の委託内容について伺いたい。
- (2) 基本的な契約期間と委託事業者の数について伺いたい。
- (3) 検針等での訪問時に住人の異常を発見した事例にどう対応したのか。
- (4) 委託事業者への救命救急の研修機会を作ることを検討するべきと考えるがどうか。
- (5) 未納者の世帯に委託事業者が訪問する流れについて伺いたい。
- (6) 昨年度の水道料金未納件数はどれくらいか。
- (7) 生活困窮による未納者に対して、生活保護制度等の行政サービスをお知らせするなどの改善ができると思うがどうか。
- (8) 行政サービスのお知らせ等を未納整理帳票に加えることができると思うがどうか。

2 事故による断水への対応について

- (1) 停電時の東京電力から水道局への連絡方法はどうなっているのか。
- (2) 停電時やその他の事故で断水になった場合の市民への周知方法について伺いたい。
- (3) 昨年1月10日の今井配水池のポンプ設備故障時の市民への周知方法はどうか。
- (4) 市民への周知に関して区役所と連携する必要があると考えるがどうか。
- (5) 区役所の広報車を活用して周知する方法もあると考えるがどうか。

3 水道施設の耐震化率について

- (1) 浄水施設や送配水管の耐震化率が低い理由について伺いたい。
- (2) 浄水施設や送配水管の耐震化率100%の達成時期について伺いたい。
- (3) 重要拠点施設への管路の耐震化は、事業計画を前倒しして早期に完成させるべきと考えるがどうか。

5 藤代哲夫委員（自民党）

1 26年度予算編成について

- (1) 26年度予算編成に当たっての水道事業の課題認識について伺いたい。
- (2) 26年度予算における水道料金収入の見込みについて伺いたい。
- (3) 健全財政を確保するための取組と効果について伺いたい。
- (要望) これまで以上に効率的な経営に努めていただくよう要望します。

2 災害対策強化企画について

- (1) 災害対策強化期間を設け、様々な取組を集中して進めることについての考え方を伺いたい。
- (2) 災害対策強化期間の取組の内容について伺いたい。
- (3) 家庭や企業における飲料水備蓄の現状について伺いたい。
- (4) 京浜急行電鉄株式会社との協働による取組の経緯とねらいについて伺いたい。
- (5) 京浜急行電鉄株式会社との協働による取組の内容について伺いたい。
- (6) パートナシップデスクの開設目的と公民連携に期待する効果について伺いたい。
- (7) 交通局と連携した取組についての考え方を伺いたい。

3 国際貢献について

- (1) 過去のタイ国地方水道公社（PWA）への協力実績について伺いたい。
- (2) 過去のタイ国地方水道公社への具体的な協力内容について伺いたい。
- (3) これまで築いたタイ国地方水道公社との人脈を活かして関係構築を図り、具体的な取組につなげるべきと考えるがどうか。
- (要望) 横浜の財産を世界に展開するためにも、様々な分野での都市間連携の取組を是非、強力に推進していただくよう要望します。

4 横浜ウォーター株式会社のビジネス展開について

- (1) 横浜ウォーター株式会社と横浜水ビジネス協議会会員企業が連携した海外ビジネス展開の実績について伺いたい。
- (2) 横浜ウォーター株式会社と市内中小企業が連携して取り組む具体的な事例はどのようなものか。
- (3) 今後の水道局及び横浜ウォーター株式会社の会員企業との連携に向けた考えについて伺いたい。
- (4) 会員企業のうち、特に市内中小企業の支援に力を入れるべきと考えるがどうか。

5 工業用水道事業について

- (1) 工業用水道事業の目的と用途について伺いたい。
- (2) 工業用水のイメージ向上につながるような取組について伺いたい。
- (要望) これまでの取組を引き続き推進していくとともに、工業用水の名称についても検討していただくことを要望します。

1 道志水源林関連について

(1) 道志村大雪被害に対する横浜市の対応について伺いたい。

(2) 間伐材の有効活用について

ア 本市が所有する道志水源林の間伐材の現状について伺いたい。

イ 搬出した間伐材はどのように有効活用しているのか伺いたい。

ウ 今後の間伐材の活用方法について伺いたい。

(3) 水源林ボランティア事業について

ア 水源林ボランティア事業の目的について伺いたい。

イ 16年度と25年度の実績及び26年度の活動計画について伺いたい。

ウ ボランティア活動の課題と今後の取組について伺いたい。

(4) 水源エコプロジェクト（ウィコップ）について

ア ウィコップのこれまでの実績について伺いたい。

イ ウィコップ参加企業等から見た評価について伺いたい。

ウ ウィコップの今後の課題について伺いたい。

(5) 水源通行手形事業について

ア 水源通行手形事業の2年間の取組状況について伺いたい。

イ 26年度の事業計画について伺いたい。

2 川井浄水場再整備事業について

(1) 事業費の当初契約からの変動要素としてどのようなものがあるのか。

(2) 金利の動向はどうか。

(3) 26年度川井浄水場維持管理費の以前との比較について伺いたい。

3 道志川系施設の耐震化と他の水源系統の再整備について

(1) 道志川系施設の耐震化状況について伺いたい。

(2) 他の水源系統の再整備計画について伺いたい。

4 設備保全システムについて

- (1) 「今井ポンプ場設備故障事故原因調査委員会」の提言を受けた対応について伺いたい。
- (2) 26年度に継続して行う取組について伺いたい。
- (3) 設備保全システムはどのように構築するのか。
- (4) 今後の設備の維持管理をどう強化していくのか。

5 中村町事務所について

- (1) 中村町事務所の再整備の目的について伺いたい。
 - (2) 再整備後の中村町事務所はどのような機能を持つのか。
 - (3) 津波等の災害に対する危険性と対応について伺いたい。
 - (4) 整備の内容と工事の進捗状況について伺いたい。
 - (5) 事務所隣接用地の利用方法について伺いたい。
 - (6) 中村町事務所に統合されることにより廃止される施設の活用について伺いたい。
 - (7) 市長部局との財産整理の進め方について伺いたい。
- (要望) 地域の事情も考えた上で、跡地の利用や再整備を進めていくことを要望します。

1 はまっ子どうし The Waterについて

- (1) 「はまっ子どうし The Water」の原産地はどこか。
- (2) 「はまっ子どうし The Water」の原材料はわき水か。
- (3) 表流水という表記は法的に問題はないのか。
- (4) わき水ではないという解釈でよいのか。
- (5) もう少しわかりやすい表記にするとか、名称を変えるべきと思うがどうか。
- (6) 「はまっ子どうし The Water」の目的は横浜のおいしい水を表現するということか。
- (7) 飲料水として横浜の水はおいしいのか。
- (8) 26年度の「はまっ子どうし The Water」の事業収支と考え方について伺いたい。
- (9) 売上計画、粗利はいくらか。広告価値とは何か。
- (10) 26年度予算は、なぜ人件費を除いた粗利でマイナス200万円になるのか。
- (11) 今後、販売本数が減り続けると、粗利自体も減り続けると思うがどうか。
- (12) 広告効果を事業収支にカウントしている局はあるのか。
- (13) 事業収支にカウントしていない価値をカウントすることはどのような意味か。事業収支ではないということか。
- (14) 販売収入全体に占める公共施設以外の割合はどれくらいか。
- (15) 「はまっ子どうし The Water」が入っている自動販売機は公共施設にどの程度設置されているのか。
- (16) 実体として、公共施設関連やその窓口等で販売している比率は何%か。
- (17) 地域サービスセンターでの売上は、どのようなお客さまにどのようなサイズをどのように配送しているのか。
- (18) 配送単価はいくらか。
- (19) 民間の対応はどうなっているのか。
- (20) 効率的といえるのか。

- (21) ニーズの把握によって、新しい商品、サービスが生まれたものは過去にあるのか。
- (22) 「はまっ子どうし The Water」の事業を民間に任すかやめるべきと考えるがどうか。
- (23) 横浜市全体としても事業を見直すべきと思うがどうか。

2 水道事業経営と合理化について

- (1) 料金収納業務をクレジット、引き落としにしたら割引ができないか。また、民間企業から料金収納代行業務を受託し、利益増加戦略をとれるのではないのか。
- (2) 住友商事がイギリスのロンドンの水道事業会社を買収した際の買収価格はいくらか。また、その水道事業会社の「利払い・税引き・償却前利益（E B I T D A）」はいくらだったのか。
- (3) 横浜市の水道事業を民間等に売却するとした場合の事業価値はいくらか。